



南高SSHだより

第12号
H26.1.29
新潟南高等学校
SSH部発行

「SSH講演会」を全校生徒で聴講しました

11月1日（金）、本校体育館においてSSH講演会が行われました。今年度は、海洋研究開発機構（JAMSTEC）で、海底資源研究に係るプロジェクトリーダーを務められている木川栄一様をお迎えし、「日本近海の海底資源：基礎から最先端の研究まで」と題してご講演をいただきました。

先生は講演の中で、海底資源開発の現状について、海底探査の方法等も含めて、豊富な資料映像を駆使しながら説明してくださいました。また、現在注目されているメタンハイドレートの生成の仕組みや、海底でメタンハイドレートを分解して天然ガスを取り出す方法などについても、科学的な視点から詳しく、わかりやすく説明してくださいました。どれも、我が国の未来と世界の未来に繋がる興味深い話ばかりで、生徒たちも引き込まれていました。

質疑の時間には、多くの生徒たちから質問の手が上がり、先生はひとつひとつの質問に丁寧に答えてくださいました。質疑応答を含めて1時間40分という限られた時間でしたが、先生は時間いっぱいまでお話ししてくださいさり、大変有意義な講演となりました。



生徒の感想より

・熱水鉱床において黒鉱が発見され、新たに研究が始まるいきさつも、研究の失敗を活かして始まったという点で、他の様々な発見と共通していると思いました。この失敗は、生物の知識だけでなく、鉱物の知識もあったからこそ活かされたと思います。広い視野で取り組むことが重要であると思いました。

・船で海底から2200mも掘れるということには驚いた。日本の技術が世界に認められるのはうれしいことだと思う。私たちも、将来世界をリードするような活動がしたいなと思った。

・海底ってすごいな！と思いました。これから有効に使えるような資源があったり、地球の生命誕生の鍵があるかもしれないとされていたり、海って深いなと思いました。もともと、海底に興味があって、深海に行きたいと思っていたので、すごく楽しい講演会でした。木川先生の講演会は、先生がこの研究がすごく好きだということが伝わってくる講演会でした。私も、好きなことを自分が納得するまで、とことん研究したいと思いました。「挑戦尽きることなし！」という言葉が印象に残りました。